

これで一安心 ～引き渡しのイメージが全職員・保護者で共有～

本年度本格実施となった引き渡し訓練が大きな混乱もなく実施できました。

実際の事案発生時は、今回のような準備万端の中での引き渡しではないので、予想外の混乱も多くあるでしょうが、引き渡しのトータルイメージが共有できたことは大きいと思います。これで、いつ起きるか分からない緊急事態に対応できるのではないかと一安心です。

昨年1、2学年の試行で、引き渡し方法の改善をして臨みましたが、全学年での実施により、新たに見えてきたこともありますので、早急に改善して、できるだけ早めに保護者に改善対応マニュアルを示し、安心安全な学校づくりを進めましょう。

私が感じた反省点をいくつか挙げておきます。

1 運動場内での安全確保

- ・車両の進入路が校舎に近いことから、引き渡し後の児童・保護者と進入車両と交雑し、交通整理が必須。
- ・事前に、指示方法を共通理解しておき、大きな声で明確に指示することが必要。
- ・交通分会の警察OBの方からは、教員の遠慮がちな指示への指導があった。「もっと大声ではっきりと指示してほしい」
- ・今回の出口側から侵入させ、運動場の階段側を大きめに空けて駐車させ、現入口から右折して出すという逆方向経路も検討したい。(退出時の渋滞の可能性もあるが)

2 学校正門前道路での安全確保

- ・徒歩で引き取る家庭と、侵入車両とがすれ違い、危険である。雨天の場合は、傘さしのためにさらに危険である上、渋滞が発生する可能性もある。上記の逆経路であれば軽減できる。

3 引き渡し「時刻」の明確化

- ・今回の低学年「12:00の開始」が、何を示すのかが曖昧だった。各校舎入り口の開放

がその時刻とするとよい。早く来た保護者は、それまで、入口外で待ってもらおう。(今回は、既に校舎に入っていた保護者もいた)

4 引き渡し順番の指示

- ・低学年の時間帯の場合、大半の保護者は1、2年生教室からスタートし、低学年児童を連れて、高学年教室まで上がって行かれていた。そのため、1年生廊下に人があふれ、階段も混雑した。

・これを回避するためには、上の学年の教室からスタートしてもらった方がよい。最後に1年生教室に行ってもらおうと、時間的にも人数的にもばらけるだろう。

5 低中高学年の時間幅の改善

- ・今回は、各ブロック1時間としたが、今後は短縮できる。できるだけ早く引き渡すためにも短縮したい。
- ・低50分、中30分、高30分の約2時間程度で可能ではないか。

6 地域の方々の参加の必要性

- ・今回は、交通安全分会の方々9人に急きよ応援頂き、大変ありがたかった。校地外の各所の交通整理を一手に引き受けてもらえた。
- ・今後も、継続的に来て頂く体制をとりたい。
- ・また、学校の安心メールを今回の関係者にもダイレクトで届くようにしたい。(次回の会合で登録して頂くことになった)

昨日月曜日には、平川地区で、幼小中の一斉引き渡し訓練を行っていましたが、私もしばらく参加してみましたが、平川は地区をあげての大規模な訓練であり、多くの地区民も参加していました。学年別ではなく、全学年一斉の引き渡しでしたが、大きな混乱は見られませんでした。今回参考にして、よりよい引き渡しの方法を積み上げていきましょう。交流センターとの共催も検討したいと思います。